

第9回 鶴川西地区小学校新たな学校づくり基本計画推進協議会 議事要旨

開催日時	2025年2月10日（月） 9：30～11：20	
開催場所	町田市立鶴川第三小学校 視聴覚室（ウェブ会議併用）	
出席者 （敬称略）	委員	岩永委員、小池委員、近藤委員、沼尻委員、柄澤委員、功刀委員、竹村委員、大隅委員、仲村委員、浅沼委員、◎鯉坂委員、山本委員、○悴田委員 （◎会長 ○副会長）
	事務局	教育総務課、施設課、新たな学校づくり推進課、学務課、保健給食課、指導課、教育センター
傍聴者	0名	

議事内容（敬称略）

1 第8回推進協議会の振り返りについて

新たな学校推進課 （資料1説明）

2 報告事項

新たな学校推進課 新たな学校づくりに関する取組内容等と 2024 年度における事業到達目標一覧
について説明

（1）施設整備について（新校舎関連）

施設課 （資料2-1説明）

委員 周囲の者からすると、建物の配置よりも、学校周辺に歩道をつけてほしいや、周囲の樹木を少し切ってほしいなどの要望がある。配置の次はそういう提案をしてほしい。

施設課 いただいた内容は、配置案とは別に検討を進めている。今回は建物の配置や位置の報告をしたが、外構計画は引き続き検討させていただく。

委員 C案のプール棟と手前の建物の間はどういう接続なのか。渡り廊下になるのか、地面を歩くのか。

施設課 1階も2階も渡り廊下のようなデッキを通して、アクセスできるよう考えている。

委員 そうすると、1階は完全にふさがっている状態か。

施設課 建物として壁に全て囲まれているというわけではないが、渡り廊下のように人が通れる道にさせていただく。

委員 非常時に地域が使う部屋や体育館を避難場所にする場合、両方がもう少し近いほうが良いのではないかと。またグラウンドは正式なサッカーの大会ができるようなサイズにしたほうが良いのではないかと。

施設課 避難時は基本的には体育館棟を使用して皆さんに避難していただくので、地域の部屋を避難場所に使うことは想定しておらず、特段支障がないと考えている。

公式サイズのサッカーコートについては、まだ絵を描いていないので、持ち帰って確認する。

委員 今では8人対8人のサッカーの試合もやっているのですが、11人のときよりも少し狭いグラウンドでもコートが取れるんじゃないかと期待している。

(2) 通学の安全対策について

新たな学校推進課 (資料2-2説明)

委員 路線バスの運用ルールを決めていく中で、1年生でも対応できるという前提や、小学生は腕時計、スマートフォンは持っていないという前提で検討してほしい。

新たな学校推進課 路線バスの乗り方教室を継続的に実施していくのが1つ。また、この4月から統合して新しい通学先になる本町田や南成瀬地区では、通学に不慣れな最初の期間に、バス停で乗降補助してもらえ方を配置できないか検討している。子どもたちが安心して路線バスを利用できるようにこれらを踏まえて鶴川地区でも運用していければと考えている。

委員 私立は大学生でもスクールバスで送迎している時代に、公立は何にもしないというのは通用しないのではないのか。また、登下校の安全を守る責任は、一番は学校でなく、保護者だということをきちっと認識をしておいていただきたい。

(3) 児童への配慮について

会長 (資料2-3説明)

(4) 校歌・校章制作について

新たな学校推進課 (資料2-4説明)

校歌制作会社 制作者挨拶

校章制作会社 制作者挨拶

委員 資料に児童や地域から意見を聞くとあるが、いつの段階でどんなことを地域の方々からの意見を聞くのか。また、校歌・校章の作詞・作曲は今回の場合、どういう表記になるのか。

新たな学校推進課 校歌をつくる会、校章をつくる会をそれぞれ3月と6月に開催を予定しており、その後、校歌・校章の案が固まった段階を想定している。聞き方については、検討しているが6月終わりから7月には伺いたいと考えている。校歌・校章の作成者名に関しては、南成瀬や本町田の事例では、作詞・作曲は制作いただいた方のお名前を表記している。

委員 例えば盛岡第一高等学校の校歌の詞は生徒たちで作っている。七五調で曲さえつければ校歌ができる。また、いろんな学校が統廃合になって、古い曲が歌われなくなっているのだから、そういう曲は著作権に触れないので参考にしてほしい。

委員 校歌・校章は作り終わった後、著作権の帰属はどこになるのか。例えばPTAで校歌や校章を使いたいとなった時に許可が必要なものなのか。

新たな学校推進課 最終的には作っていただいた方とご相談という形にはなるが、基本的にはほぼ全てを市に譲渡いただくという形になる。ただ、一部は作った方の個人の権利もある

るので、調整してどちらで持つかということになる。したがって、先ほどの例の場合は、基本的に教育委員会側で著作権の大部分を持っているので、まずは市にご相談していただきたい。

(5) 学校施設の地域活用について

新たな学校推進課 (資料2-5説明)

委員 地域活用型学校を整備する上で動線を区切るとするのは、物理的に区切るという認識でよいか。例えばシャッターを閉めて入れなくするような設計になるという理解でよいか。

新たな学校推進課 隈研吾建築都市設計事務所と協議をしており、物理的なシャッターやフェンスなどで区切れるように設計図への反映について依頼をしている。

委員 都市計画法上の特別用途地区の指定というのをもう少し具体的に説明してほしい。

新たな学校推進課 現在の都市計画の用途では学校という使い方でしか建物を建てられないため、新しい学校では、学校以外に地域の防災拠点や集会場などの機能を持たせられるように、法的な整備を進めている。

委員 地域開放のルールをどこまで緩やかにするのかというようなことも、考えていただきたいと思う。

新たな学校推進課 現時点で、町田市は学校開放という制度があるが、基準が明確でないところもある。今後の地域活用型学校を使う団体に対して、どんな運用ルールにしていくかについては、来年から南成瀬と本町田地区が2028年度の新校舎開校に向けて検討を進めるところであり、検討状況は皆様にも順次ご報告する。

委員 別紙1の地域という動線は地域の方が入る動線なのか。C案だと、地域の方が入ってくる動線が2つあるようだ。

施設課 新しい校舎には門が3つあり、正門が南側、東門が管理門、西側に車両門があり、基本的に西側の車両門を給食搬入や地域の方・来校者に使用していただく運営にしたいと考えている。児童は正門を使用して校舎に入っていく動線計画となっている。

委員 矢印が2本あるのはどういう意味か。

施設課 見方として、体育館を使う方にはまず受付をしていただき、その後に体育館に行っていたかというようなルートになるので、矢印を2本入れている。

委員 地域活用型学校を整備する上での考え方として、地域利用は学校教育上、余ったら活用すればよく、地域の方はそれぞれの自治会館や町内会会館、市民センターなどの施設を優先的に使えばよい。学校を全面的に開放する必要はなく、あくまで教育の場であるということの主眼にして学校を運営してほしい。

(6) その他報告

新たな学校推進課 (資料2-6説明)

委員 3年生だけでなく、5・6年生にも町田の歴史を伝える授業をやってほしい。

新たな学校推進課 （資料2-7説明）

委員 現1年生、2年生に実施とあるが、新1年生のバスの乗り方教室はどこかで開催する予定があるか。

新たな学校推進課 今年は現1・2年生が対象になるが、来年度の1年生と統合年度となる2026年度の1年生に関しては、また春休みくらいの時期に周辺の保育園や幼稚園にもお声がけしながら、参加できるような形で実施していきたいと考えている。

学校教育部長 本日で今年度最後の協議会となる。委員の皆様におかれては、2023年5月に本協議会を設置してから全9回の協議会にご出席いただき、忌憚のないご意見をいただきながら議論していただいたこと、誠に感謝申し上げます。

協議会では、通学に関することや仮校舎の整備、校歌・校章の制作、歴史の継承など、様々な事項について具体的な検討を行ってきた。今年度は、新しい学校の通学路案が決定するなど、着実に取組を進めてきた。また、各学校が紡いできた歴史を継承するデジタル保存についても、皆様と協力して具体的な取組を進めることができた。

2025年度は、いよいよ鶴川第三小学校と鶴川第四小学校の統合を控えて、新しい通学路への安全対策や子どもたちを交えて行う校歌や校章の制作など、より具体的な取組が進んでいく。特に来年度は、本町田地区、南成瀬地区、この先行の地区がいよいよ実際に統合する。これら先行事例の良いところを鶴川にも取り入れていきたい。

2025年度以降も引き続き、新校舎で子どもたちが教育を受けられるようになるまで、協議会において保護者代表や地域の方の代表、学校代表の方々と本事業の進捗状況を確認していくとともに、必要な意見交換を行わせていただきたい。

引き続き皆様のご協力を重ねてお願い申し上げます、お礼とさせていただきます。

委員 少し話が戻ってしまうのだが、現在の鶴四小は少し高台にあるが、南側にある階段にはスロープが付くのか。今後、体が不自由な子や、障がいを持っていたり、怪我をした子がいるときなど段差がないことが必要になると思う。

施設課 スロープについては、正門側に設置する計画で進めている。

委員 今のように勾配が急な造りになるのか。

施設課 スロープの勾配は法律で決まっているので、それに合わせてスロープをつくっていく。

委員 鶴の台から下りるスロープをつくったほうがいいと思っている。真光寺の方から来る子どもたちの安全の面からも考えていただけるとありがたい。

新たな学校推進課 次年度の推進協議会は、2025年5月を予定している。新年度となり、委員の選任などあるため、後日改めて個別にご連絡をさせていただく。

会長 （閉会の挨拶）